



松原市少年自然の家
クリエート月ヶ瀬

写真構成:河内 徹 議員

令和元年第1回定例会概要

- 会期 令和元年6月7日から6月28日まで(22日間)
- 報告 6件 ○議案 11件
- 議会議案 3件

主な内容

- P. 2~P. 3 議案に対する質疑
議決結果一覧
- P. 4~P. 7 一般質問(個人質問)
- P. 7~P. 8 委員会協議会での一般質問
令和元年第2回定例会日程(予定)

松原市民松原図書館に係る 指定管理者の指定について

松原市公の施設の指定管理者候補者選定委員会の審議を経て候補者として選定されたTRC松原グループを松原市民松原図書館の指定管理者として指定するもの。

問 業者選定の際にどのような図書館のビジョンを業者に求めたのか。また、事業内容のどんな点を評価して今回の業者が選ばれたのかその理由について

答 幼い子どもから高齢者の方まで多くの市民がそれぞれのスタイルにあった活用ができる図書館をコンセプトとした提案を求めた。今回の業者は松原市のコンセプトを理解しており、ホスピタリティあふれるおもてなしを重視する等の提案をされている。また、ゆっくりとくつろげる環境づくりの提案もあり高く評価した。

問 より良い提案を得るために、募集内容や期間等についてどのような点を考慮して募集をしたのか。

答 求めるコンセプトを提示し、できるだけ多くの企業からより良い提案をいただけるよう、募集期間については、3月30日から5月7日までの50日間とし、市ホームページや指定管理の情報サイトにより周知した。

問 選考項目基準や配点基準の有無、選定委員会や幹事会の詳細、選定委員会で議論となったことについて

答 基準については、選定委員会で募集要項等を作成の中で決定した。選定委員会は副市長、市長公室

長、総務部長、教育総務部長、学識経験者2名で構成されている。幹事会は指定管理者候補者の選定業務を所管する部の職員、その他関連する部の職員を入れた5名で構成。

議論となった内容については、それぞれの団体から提出された提案書を見ながら、幹事会での各項目の評価内容について議論された。

(その他の質疑)

▽指定管理候補者をはじめとした応募企業の提案内容について

▽指定管理候補者の選定に伴うプロポーザルのやり方について

▽障害者、高齢者等にかかるサービスの提案内容の有無について



令和元年度松原市一般会計 補正予算(第1号)

プレミアム付商品券事業

問 プレミアム付商品券事業の対象者数について

答 対象者は低所得者世帯(非課税者)及び0歳〜2歳の子育て世帯で、低所得者世帯では3万1000人、0歳から2歳の子育て世帯では2000人となっている。

市民図書館管理運営事業

問 新図書館の年間運営経費の債務負担行為に係る積算金額と今回の補正後の額との差異について

答 主に人件費及びシステム費が低く抑えられている。

問 何を基準に精査・評価をして補正予算の金額を決定したのか。

答 業者が出してきた金額が妥当かどうか、選定委員会の中で精査している。特に、施設、設備、備品、維持管理、事故対策、災害対応等総合的に判断し計上した。

問 補正予算の積算根拠について

答 業者からの収支計画の提案により積算している。

(その他の質疑)

▽プレミアム付商品券について対象者全員分を予算計上しているのかどうか。

▽ブロック塀改修事業の概要及びブロック塀の安全確認について

▽ブロック塀改修事業の完了までのスケジュールについて

▽新図書館と現図書館の維持管理費の比較について

▽プレミアム付商品券の対象者への周知及び購入方法について

▽今年度限り国が交付する子ども・子育て支援臨時交付金の具体的内容及び令和2年4月1日以降の本市の対応について

▽保育所の主食・副食費に係る保護者の負担について

平成30年度松原市一般会計補正予算(第6号)専決処分の承認を求めることについて

▽土木費国庫補助金を道路整備債に積み替えられた理由について

▽今後、市債へ積み替えた分の補助金をどのように国に対して要望していくのか
▽国民健康保険事業における国庫支出金の減少を府費と一般財源で賄うことについて

平成30年度松原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)専決処分の承認を求めることについて

▽補正予算の詳細について

▽今回の納付金の中に子ども医療費助成へのペナルティーは含まれているのか
▽事務費の基準について

▽国民健康保険の府内統一化により給付費のペナルティー分として負担しないといけない内容について

▽市独自減免制度の検討について

※議員(委員)の質疑内容を掲載したものであり、答弁を含む詳細は、市ホームページを経由してYouTubeで視聴することができます。

松原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

▽今回の条例改正により保険料が減となるその具体的内容、改正対象の第1段階、第2段階、第3段階それぞれに属する被保険者数及び改正対象の所得区分が第1段階から第3段階までとなった理由について

▽第4段階以降の低所得者の負担軽減に対する市の見解について
▽低所得者の保険料軽減措置に対して国2分の1、府2分の1、市4分の1の割合で財源措置されるが、市負担分として介護保険特別会計からの持ち出しについて

大堀・小川財産区管理委員の選任について
(議案第10号及び第11号)

▽一定条件下での人選が難しい中、今後の対応について
▽財産区において、常にチェック機能が必要で働くような仕組みづくりが必要ではないか。

令和元年第2回定例会は、9月9日(月)より開会します。
詳しくは8ページをご覧ください!



令和元年第1回定例会に付議された議案等の議決結果は以下のとおりです。

全会一致で可決した報告・議案

○平成30年度松原市一般会計補正予算(第6号)専決処分の承認を求めることについて	○松原市市税条例の一部を改正する条例制定について
○平成30年度松原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)専決処分の承認を求めることについて	○松原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
○松原市市税条例等の一部を改正する条例(平成31年条例第11号)専決処分の承認を求めることについて	○松原市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について
○松原市都市計画税条例の一部を改正する条例(平成31年条例第12号)専決処分の承認を求めることについて	○松原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
○市道管理に係る損害賠償の額を定める専決処分の承認を求めることについて	○教育長の任命について
○令和元年度松原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)専決処分の承認を求めることについて	○教育委員会委員の任命について
	○農業委員会委員の任命について
	○大堀財産区管理委員の選任について
	○小川財産区管理委員の選任について
	○松原市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
	○「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書
	○児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

賛否が分かれた議案 議長(三重松清子・公明党)は通常採決には加わりません。賛否同数の時のみ可否を決定します。

議案	公明党				自由民主党			日本共産党			大阪維新の会			まつばら未来		結果		
	依田眞美子	河内徹	中尾良作	三重松清子	中田靖人	篠本雄嗣	紀田崇	池内秀仁	植松栄次	野口眞知子	福嶋光広	森田夏江	田中厚志	鍋谷悟	平野良子		河本晋一	松井育人
令和元年度松原市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	可決
松原市民松原図書館に係る指定管理者の指定について	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	可決

水害対策と学校の課題について



自由民主党
紀田 崇

水害対策

問 水害対応について
答 雨に強いまちづくりを重点施策として位置づけ雨水対策に取り組んでいる。

問 別所地区の雨水対策の現状について
答 浸水不安解消のため、上流域水路の各所から雨水排水を分散させ、下流域の排水量を軽減する工事を平成30年度から2カ年で実施し、今年度末の完成に向け進めている。

問 河川監視カメラを有効に使えるようにできないか？
答 インターネットで河川の画像を確認できることを広報等で周知していきたい。

教育現場の課題

教職員の現状と課題

問 学校に求められる役割の拡大により多様な業務に追われ、教職員の教育指導に係る時間の確保が困難な状況にあり、教育指導体制の充実が重要と考える。
問 具体的にどのような業務に追われているのか？
答 授業以外に授業の準備等の事務作業、保護者対応、PTA活動、地域との連携、通学路の安全確保、見回りなど多岐にわたる。

問 残業時間について
答 平成30年度の月平均は小学校が52・1時間(前年度比2・7時間減)、中学校は79・1時間(前年度比2・1時間減)となる。

問 教師の仕事量は一学級あたりの生徒数に比例するの？
答 業務によっては比例する。

問 児童の公平な教育環境を確保するために、も教員や専門家の配置を府へ要望すべきでは？
答 今後もし引き続き要望していく。

市民の基本的人権を守る市政を



日本共産党
森田 夏江

日本一高い国保料

問 日本一高い国保料に対し、負担軽減を求めてきた市民の要望は、この間、市長会を通じて国や府に出されてきた要望書の内容とほぼ一致したものになっており、制度疲労を起していることの認識は同じである。さらに国・府の責任で負担軽減を行うよう求めるとともに、これを待たずに市独自に減免制度復活や均等割軽減を行うべきだが？
答 国庫負担割合の引き上げや新たな財政支援など、国や府に対して要望している。累積赤字を多額に抱える本市は、制度の継続的、安定的な運営が最重要課題で、大阪府の運営方針にそった形で進めていく。均等割の独自減

免は、国において制度化することを基本に府へ減免制度の構築についても要望していく。

問 市に要望するための会議や署名活動を「悪」とした公共施設利用制限は、2年前裁判で憲法違反として断罪された。しかし、今日も利用制限がある。署名や政治活動は憲法で保障されており、基本的な人権と憲法の理念に則った運営でなければならぬ。市の認識を問う。
答 公務員なので、憲法を初め、法令遵守は当然のことである。公民館の件は、利用者に対する説明が不十分であったため、直ちに訂正をし、適正に利用いただいている。まつばらテラスにおいて署名活動ができないというような発言があったと聞いているが、事実は確認できていない。今後もし引き続き法令や条例規則に基づいた適正な運用で対応していきたい。

時代に合ったスタイルを



大阪維新の会
平野 良子

「SNS子育て総合相談」の実施でいじめ・虐待・DV防止を

若者のコミュニケーションツールはSNSに移行し電話や対面は時代に合わない。SNS相談を実施する自治体が増え有効性も認識されている。対面相談では相談ニーズに対応しきれない。相談者が気軽に身近なツールで相談できる方法も導入すべき。

問 SNS相談の意義をどう感じているか？
答 SNSの気軽さが相談のしやすさに有効であると考える。

問 相談体制が複雑で窓口がわかりにくいのが、現状と相談の目的は？
答 現在は相談窓口を7つ設置しており、子育ての不安や負担を相談することによって不安感の解消につながってもらうことが目的と考えている。

災害時に共助ができる環境をまず整えて

問 地区防災計画の策定が計画にあるのに進んでいない。自主防災組織主導で地区ごとに策定を進める支援を。
答 市として自主防災組織での地区防災計画の策定が広がっていくよう支援していきたい。

問 地域の防災活動を促進するために「モト・モノ・カネ」の支援で共助ができる環境整備を。
答 防災資機材購入費や防災活動費の助成、防災協議会の研修会の開催、自主防災組織育成の支援等、市や地元の方にとって最適な方法を研究していきたい。

*SNSソーシャル・ネットワークワーキング・サービスの略

災害は備え！ 高齢者は宝！



公明党
中尾 良作

避難行動を促す取り組み

問 行動計画タイムラインに対する考え方と現在の状況は？

答 避難するための十分な時間を確保し、明らかならば避難所を開設。今年度から防災アプリを活用し避難所開設情報を発信する。

問 高齢者や幼い子どもがいる家庭で避難せず災害に巻き込まれたというケースが他市であったが、本市の考えは？

答 隣近所のおいコミュニケーションが命を守ることにつながるといふことを呼びかけていく。

問 危機管理組織や災害情報システムの強化が重要と考えるがどうか？

答 防災プラネット職員的人的体制の強化を検討。災害情報システムは、

気象庁等関係機関との連携を密にし、住民の主体的な避難行動を促す。

高齢者施策について

問 高齢者の運転免許証自主返納について、移動環境の確保と支援制度の充実の考えは？

答 高齢者講習の実施や高齢者の交通安全についてルールやマナーを啓発し、運転免許証の自主返納についても周知を図っている。

問 ひとり暮らしの高齢者対策の方向性は？

答 今後増えるだろう認知症の対策として、認知症初期集中支援事業の実施。また、認知症の見守りの担い手の養成に力を入れて取り組む。高齢者相談窓口の周知拡大を行う。

問 高齢者が孤独化しない取り組み、サービスは有るのか？

答 できるだけ外に出かけることで、閉じこもり予防になる介護予防事業・元希者カフェ・老人クラブの一人暮らしの方への訪問活動を実施し、今後も続けていく。

地域とともにある 学校づくりを！



未来
まつばら 河本 晋一

全小中学校において

問 全小中学校において、児童生徒たちの安心安全な環境をさらに進める為にISSが展開されているが、今後の事前指導、認証等のスケジュールは？

答 松原中学、第三、第六中学校区の10校が令和2年1月に事前指導を受ける予定。第四、第七中学校区の6校は11月に現地審査を行う予定で、認証となれば令和2年1月に認証式を予定。

問 ISSの取り組みを行う上で、地域との協働が大切と言われるが、具体的にどのような事を行っているか？

答 地域の安全マップで子どもと大人が一緒に危険箇所を確認して対策を立てる等の取り組みを行っている。

問 地域との協働を進めて行くことで、得られた効果は？

答 中学生が小学校の門に立ち、挨拶運動している様子を見て地域の方が一緒に参加されるなどの効果があった。

逆に課題として

問 ISSの新しい取り組み情報をどう地域へ周知するかが課題。

問 学校での様々な取り組みを進める上で、町会や地域との相互の情報共有が重要と思われるが取り組み内容は？

答 地域の様々な団体の会議や懇談会等により情報共有を行っている。

問 今後、教育委員会として学校が町会や地域との情報共有、協働の取り組みをより一層進める為に、何が必要か？新たな取り組みとしてはどのような事を考えているか？

答 SSCの特に共助が大事。ISSの取り組みも町会や地域と連携し、見守り隊の充実等を考えていきたい。

公共投資の効率化 で大きな発展を



自由民主党
中田 靖人

仮称まつばら南認定こども園について

問 開園並びに建物の完成時期、各認定の定員、クラス編成を問う。

答 開園は令和3年4月で令和2年12月の完成を目指す。定員は1号認定134名、2号36名、3号24名、クラス編成は0〜2歳児が各1クラス、3〜5歳児が各2クラスで考えている。

問 設置基準上の保育室等の面積と定員の関係について

答 基準よりゆとりを持たせた運営をしていく。

問 設計に教員や保育士の意見は反映されているのか。また、年間カリキュラムや方針はどうするのか？

答 日々の保育等の動きを考慮して意見を出している。カリキュラム

は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえた指導案に基づき、地域性や特色を生かし園長が決定していく。

問 安全対策は？

答 過去の事例を参考に安全確保に努める。

3園統合後、転園児への配慮は？

答 園児に負担がないよう協議していきたい。

兼務園長について

問 市立幼稚園の兼務園長について、教育上の「ねらい」を問う。

答 幼稚園と小中学校の連携をさらに深めたい。

観光事業の推進について

問 誘客の目標値やその算出根拠を問う。

答 目標値は3万7746人で年間2%の増加率で算出している。

問 誘客を行う為に明確なポジションを打ち出すべきでは？

答 何が観光誘客に効果的か研究していきたい。

問 無電柱無電線化にも取り組むべきでは？

答 新しい技術、国や府の動向に注視し、研究していきたい。

三方良しの改革を！



自由民主党
篠本 雄嗣

市内の公共交通の現状について

問 公共交通の脆弱な地域の存在の認識を問う。

答 地域によっては鉄道駅等から少し離れているところもあると考える。

ぐるりん号の役割と利用状況について

問 利用率が高い高齢者の利用しやすい環境整備、近年の運転手不足による委託料の増加懸念から市民、市、市内事業者にとってメリットがある運用への転換の必要性を問う。

答 適正な経費縮減に努めるとともに、市民ニーズ等のバランスを図りながら継続していきたい。また、医療や高齢者の部署とも連携しながら、検討していく。

市内の事故危険箇所の把握状況と安全対策について

問 通学路や園児の散歩道など交通事故危険箇所に対する市の対応状況とゾーン30の内容と周知方法を問う。

答 道路管理者をはじめ関係者による点検等を行い、必要に応じ対策を講じている。ゾーン30とは区域を定め、車両の通行速度を時速30km以下に規制する生活道路対策のこと。警察から町会を通じ周知しており、今後はSCの交通安全対策委員会とも協力し、町会連合会を通じ周知を進めていきたい。

路面等補修必要箇所の把握状況と対策について

問 路面等危険箇所の早期修繕対応に必要な情報収集の方法と維持管理の新しい手法を問う。

答 現在進めている道路台帳の電子化によるデータの蓄積により総合的に把握するとともに、維持補修計画も新たに作成し、新しい技術や管理方法について、アプリを活用した市民からの情報提供も含め研究していく。

どの子もエアコンのついた部屋で



日本共産党
福嶋 光広

問 必要な台数が確保されず、設置されていない学級があることを認識しているのか？

答 十分に認識し、全児童・生徒がいずれかの教室に入って学習ができるよう取り組んでいる。

図書室、ランテールム、音楽室、支援学級等を使うことによる問題の解決のため来年度に向け不足分を増設するののか？

答 特別教室と新たに空調整備した教室を活用することにより全ての児童・生徒が空調整備した教室で授業を受けられ、学習環境の充実は図れている。

入学時学用品費の支給を一日も早く

問 中学校全員給食を実施している自治体は？
答 府下で7割ぐらい、

給食が始まっている。
問 新入学生で入学時学用品費を支給されていないのは何人？

答 未支給者は小学生で58人、中学生で165人。

問 府下の入学時学用品費支給の現状は？

答 各市差があるが本市としては現状がベターと考える。

問 教師の時間外労働の推移と現状は？

答 30年度の時間外勤務の月平均は小学校は52・1時間、29年度との比較は2・7時間減。中学校は79・1時間、2・1時間減。

教員の多忙化解消に人員増が不可欠

問 根本的な解決に向けて国や府に人員増の要望をすべきだ。

答 大阪府及び国のほうへ要望していきたい。

問 幼稚園のエアコン設置の現状は？

答 5月中に市内全幼稚園について設置が完了している。

問 ひさし崩落事故の再発防止策は？

答 調査・現場確認を行い修繕等の対応、改修等も含め行っていく。

実効あるパワハラ対策を！



日本共産党
植松 栄次

問 ※1労働施策総合推進法の改正により、パワハラは法令上「優位的な立場を利用して、業務の範囲を超えての激しい叱責や言動などで、相手の人格と尊厳を侵害する行為」と定義づけられ、具体的な事例(案)も出されているが、本市での実態把握は？

答 現時点で相談を受けているというのではない。業務で指導を行うにあたって、どこからがハラスメントに該当するかは非常に困難と考えられる。今後引き続き研修等を通じてハラスメントに対する関心と理解を深めていきたいと考える。

問 来年4月から事業主にパワハラ防止のために必要となる措置が

義務付けられるが、本市の対応は？

答 改正法では、労働者からの相談体制の整備や相談者等への不利益な取り扱いの禁止が規定されている。来年度の法施行に向けて準備を進める必要がある。

問 本市としてのパワハラ防止の職場環境整備の進め方は？

答 今回のパワハラメントの定義や防止対策の強化を目的とした相談窓口の設置等が規定されたことを踏まえ、職員研修の内容を改正法の趣旨に即したものにへ見直し、より一層健全な職場環境の整備に努める。

問 不燃物・粗大ごみの状況について、GW中のごみの収集は？

答 通常どおり土・日曜日以外で受付を行い、GW明けは過去の繁忙期のデータを参考にオペレーターを増員し対応した。収集体制についても通常どおり日曜日以外で実施し、混乱なく対応できた。

※1労働施策総合推進法Ⅱ労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律の略

本定例会では以下の議員が個人質問されました！

市民重視・豊かに暮らせる松原！



大阪維新の会 鍋谷 悟

大塚高校を避難所として開放できないか

問 西大塚周辺に住んでいる人が中央環状線を越えて松原東小へ避難するのは困難であり大塚高校へ避難できないか？

答 府立高校については、大規模災害の発生等により市内小中学校の指定避難所への避難が困難な場合に、避難所として開設する。

河内松原第2号踏切の進捗状況は

問 中央環状線のすぐ東側の踏切だが、踏切幅と北側道路も広くならないと安全でスムーズな通行ができないのでは？

答 踏切の北側における用地確保や近鉄等関係機関との協議がとこのい次策、周辺道路とあわせ踏切の改良工事に着手する。

わんわんパトロール隊の周知について

問 犬の飼育者が日頃の習慣である犬の散歩を兼ねたパトロールである。市民の多くに周知されることで隊員の数も増え、より安全な見守りパトロールになるのでは？

答 広報まつばらツイッター・フェイスブックで周知しており、今後においても市民の皆さんの自主的なパトロール活動がさらに活発になるよう防犯パトロールに役立つ情報を発信する。

大阪都構想について

問 統一選挙の結果を見ても府民の多数が変革を求めているのでは。大阪都構想に参画するかしいかは、市民の多くが望む方向へ進めていくべきだと考える。

答 本市において大阪都構想に対する大阪府・大阪市との動向を注視し、適切な対応について、慎重に研究・検討を進める。

市民の皆さんの声を市政に反映!!



公明党 依田 眞美子

子育て支援について

問 赤ちゃんの駅をスタートし1年。現在の数と今後の展開は？

答 現在43カ所の登録。今後も登録を増やすよう努める。

問 松原市子ども・子育て支援に関するニーズ等調査について皆さんの声をどう活かしていくのか？

答 調査結果を踏まえ、内容を精査し、計画に反映していく。

健康長寿の増進について

問 介護予防事業やフレイル予防につながるものは？

答 筋力トレーニング教室やうた体操、元希者カフェの開催等をしている。
問 フレイル状態を予防する為に、今後の新たな取り組みや方向性は？

答 栄養、運動、社会参加を柱とした事業の拡充を図っていききたい。

防災対策について

問 災害時の情報伝達手段のあり方については？

答 青パト等の広報活動等に加え、防災アプリも導入。今後も情報発信力の強化に努める。

問 学校での災害発生時の対策は？

答 危機管理マニュアルの整備や訓練を実施する等、被害を最小にとどめられるよう努めている。

市民図書館について

問 学校との連携は？

答 学校への団体貸し出し等を実施。指定管理者のノウハウを活用した新たな取り組み等により一層連携を深めていく。

問 学校図書館の充実には司書の増員が必要では？

答 司書のより効果的な活用も研究しながら、増員も検討していきたい。

第五次総合計画について

問 子どもたちに計画を理解してもらおうのはなぜ？

答 8年後に大人になろうとする子どもたちにも本市の魅力を知ってもらい、住みたいと感じていただきたい。

福祉文教委員会協議会

委員会協議会において以下の委員が一般質問を行いました！

森田 夏江 委員

野口 真知子 委員

問 地域の防災訓練は、毎年、小中学校・保育所・幼稚園の児童保護者とともに実施すべき

答 地域のつながりを今までも大切にしており、普段からの交流や連携が災害時に大きな力を発揮するものと考え。今後、災害時に協力体制が築けるような方法等を検討する。

問 引き渡し訓練や一斉メール配信を学童・保育園まできめ細やかにすべき

答 地域・保護者とともに災害に備えることは重要と考える。引き渡し訓練を実施している小学校もあるが、中学校についても引き渡し訓練も含め災害対応について検討していきたい。また、一斉メール配信について、今年度より小中学校を対象にメールによる子どもの安否確認ができる環境を整えた。留守家庭児童会室については、保護者の連絡先を登録していただきメール配信ができるよう取り組んでいる。保育所・幼稚園については、今後研究して進めていきたい。

問 障害福祉サービス利用者も65歳になったら、介護保険に移行しなければならないのか。

答 国の通知により介護保険サービスのみでは必要なサービスを確保できない場合や、障害福祉サービスの固有のサービスと認められるサービスについては、障害福祉サービスを利用できるとされており、本市においても通知に従い適切に運営しているところである。

問 どうしても国の制度だから、65歳になったときに障害から介護のほうに移行しなければならないが、強制できるものではない。松原市はどう考えるか。

答 国の通知では、一律に介護保険サービスを優先的に利用するのではなく、申請者個別の状況に応じ、申請者が必要としている支援内容を介護保険サービスにより受け取ることが可能か判断するとなっている。重要なことは、サービスを必要とする人に必要なサービスが適正に実施されることだと考えるので、今後においても、高齢介護課と情報を共有しながら、適切なサービスの運用に努める。

※フレイル・運動機能や認知機能等が低下し、慢性疾患の併存等により心身の脆弱性がみられるが、適切な介入・支援により生活機能の維持向上が可能な状態

中田 靖人 委員

河内 徹 委員

問 松原ポンプ場配水地上面の整備内容の詳細について

答 グラウンドゴルフやキャッチボール等のボール遊びができる自由広場とその周りにウォーキングや小さな子どもたちが遊べる憩いの広場を整備する。現在、令和2年春のオープンに向け今年の秋頃から工事を着工できるよう作業を進めている。

問 憩いの広場の中に自由広場があるという認識だが、その広場ごとの区切りはどのようになっているのか。また、ほかの附帯設備の詳細は。

答 自由広場の周囲に安全対策として4メートルの高さのフェンスの設置を考えている。また、附帯設備として、トイレ、あずまや、ベンチ等の設置を予定している。

問 カーブミラーや路面表示を維持管理するにあたって、今までのやり方と電子化を入れることによってダブルの目がある。斤内連携をとって一つ一つ進めていっていただきたいがその点はどうか。

答 危険の芽をできるだけ未然に多く摘み取ることが安全につながると考える。今後も新しいツール等十分に活用し、適正な維持管理、安全対策に努めていく。

問 高見ノ里駅のバリアフリー化工事で、特に朝、学生が多いためたまり場の安全対策はどうなっているのか。

答 階段を降りたところは近鉄の敷地になるが、安全対策については、現状現場を確認しながら必要に応じて、近鉄に申し入れを行っていく。

平野 良子 委員

植松 栄次 委員

問 第5次総合計画でうたっているような環境配慮を掲げるのであれば、まず斤内での取り組みから推進すべき。

答 職場環境においてプラスチックごみ削減に向けたマイボトルの使用や市主催のイベントでのプラスチックごみの発生抑制等は非常に有効な手段だと考えるので、そのような取り組みを推進していく。

問 消費者の行動次第でごみを減らせる。市民にインパクトを与え、行動を変える動機付けができるのは行政の発信しかない。「ごみゼロ宣言」のようなわかりやすい発信をすべきではないか。

答 マイバック・マイボトルの持参や過剰包装を断るなど身近な取り組みにつなげていただけるような市民への啓発や情報発信に努める。

問 松原は交通の通過点としてよく扱われるが、通過点には通過点の魅力がある。そういった点も活かして観光客を呼び込むべきだと考えるが、本市の考えはどうか。

答 本市を通過する途中で立ち寄りいただけるような取り組みを松原市観光協会と連携し研究していきたい。

問 松原市内を縦断する今井戸川の水害対策としての現状は。

答 上田地区に毎秒最大約2トン、阿保地区に毎秒約5トン、スポーツパーク南側で毎秒最大約6トンの雨水を取り込むことができる取り込み施設を設置。また、水路敷は、樹木や護岸の状況をパトロールなどで確認し、計画的に適切な維持補修を行っている。

令和元年第2回定例会審議日程(予定)

※審議日程はあくまで予定ですので、変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。

日	月	火	水	木	金	土
	9/9 本会議初日	10	11	12	13	14
15	16	17	18 本会議 個人質問	19 本会議 個人質問	20 本会議 個人質問	21
22	23	24 福祉文教委員会	25 総務建設委員会	26 委員会予備日	27 決算特別委員会	28
29	30 決算特別委員会	10/1 決算特別委員会	2 決算特別委員会	3	4 本会議最終日	5

市議会から国会や関係省庁に
対し意見書を提出しました!

- 「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書
- 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

本会議・委員会の様子は、市ホームページを経由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらのQRコードからアクセスできます。

もしくは、<http://www.city.matsubara.lg.jp>

よりアクセスをお願いします。

松原市議会

検索

スマホでスキャンしてや!!

